

委員長 傍聴についてご報告いたします。

本日の教育委員会会議に1名の方から傍聴したい旨の申し出があります。松戸市教育委員会傍聴人規則に基づき、これをお認めいたしますので、どうぞご了承願います。

それでは、傍聴人を入場させてください。

(傍聴人入場)

◎開 会

委員長 ただいまから平成22年12月定例教育委員会会議を開催いたします。

開会に当たり、八田委員から本日都合によりおくれるという連絡が参りました。ただし、委員の過半数が出席しておりますので、本会議は成立しています。したがって、これより開催いたします。

◎会議録署名委員の指名

委員長 開会に当たり、本日の会議録署名人を瀧田委員にお願いいたします。

◎議案の提出

委員長 それでは、日程に従い議事を進めます。

本日の議題は、議案1件、報告1件となっております。

◎松戸市教職員研修奨励規程の一部を改正する訓令の制定について

委員長 初めに、議案第52号「松戸市教職員研修奨励規程の一部を改正する訓令の制定について」を議題といたします。

ご説明願います。

指導課長 指導課長の伊藤です。よろしくお願いたします。

議案第52号で「松戸市教職員研修奨励規程の一部を改正する訓令の制定について」を説明します。

改正点としましては、資料の2枚目にありますように、奨励規程の一部を次のように改正します。

第1条中の「第19条」を「第21条」、それからその後半の部分ですが、「実施又は」という部分を「実施し、又は」というふうに改める、2カ所の改正でございます。これにつきましては、教育公務員特例法の改正に伴い、訓令で引用する同項の条項名を整備等するためあります。

なお、参考に、新しい第21条と申しますのは、「教育公務員は、その職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならない。」、一番私たちにとっては重要なところでございますけれども、問題はないと思いますのでよろしくお願ひします。

以上でございます。

委員長 ありがとうございます。

議案第52号につきましては、ただいまのご説明のとおりです。

これより質疑及び討論に入ります。

山田委員 特に内容的には。恐らく今まで整合していなかったのが改正するというので、それに何ら問題はないんだらうと思うんですが、いい機会ですので。教育公務員特例法の21条を拝見すると、2項で教育公務員の任命権者は研修についての計画を樹立し、実施に努めるということで、任命権者ということになると県になるかと思うんですが、実際どういう計画があり、どういった実施がされているのかというのと、市町村レベルで何かされていることがあれば教えていただけますか。

指導課長 教員にとっては研修というのは重要な使命といえますが、常に心がけていかなければならないものでございますので、県の総合教育センターでも多くの研修講座を企画しておりますが、最近で重要なのはやっぱり初任者研修、これが1年目の教員は大分時間を割かれております。それと、松戸市としましては5年間英語、あるいは言語技術、この前の会議で説明させていただきました、そういう特化したものについての研修というものも来年度は特に重要視して考えなければいけないと。

同時に、今説明しました初任者研修についても、来年度から県のほうが30時間ほど削ります。その分を市町村で今度は賄いなさいと。あるいは、2年目、3年目研修というものについても、来年度、再来年度、県のほうで新設をします。その部分につきましても市町村のほうでも考えなければいけないということで、これまでよりも教育課題が多いせいもあるんですけれども、教員の研修というものが10年ぐらい前に比べましてもより重要な位置を占める

というふうに私どもも認識しておりますので、市としましては教員の研修体制というものを改めて構築したいというふうに考えております。そういうところでございます。

川村委員 これではよいと思いますが、教育公務員特例法の第19条はいつごろから第21条になりましたか。大分前だと思いますが。

指導課長 すみません。平成15年度であります。

川村委員 15年度ですよ。その間は。

指導課長 その間は失念してしまいましたと言うしかございません。

川村委員 わかりました。

委員長 山田委員が質問された教職員、教員の研修につきましては、10月18日に行われた千協連の教育委員研修会の第3分科会のテーマが、教職員の資質向上と研修のあり方というものでした。そこで10年間の研修のあり方として策定されたものが出ました。それによると、国がまず実施する研修があつて、1から6種類だそうです。それから、県が実施する研修があり、更に市町村の研修があるというふうに、3段階研修制度になっています。したがって、教員の皆さんは結構研修研修で大変なんですね。それが負担になっているかどうかわかりませんが、教員の質的向上という意味ではそれはいいんでしょうけれども、それが重なるようだとどんな意味があるかということで、研修内容の吟味も必要になってくるような気もしました。

そこで、教師を研修から少し解放してあげてはどうですかと発言したところ、拍手が起きました。それだけ皆さん、やっぱり負担に感じている部分がないわけではない。研修もいけれども、負担になると、さて子供たちとの接する時間がそれだけ奪われてしまうのではないかと気になります。そのバランスは難しいですね。

山田委員 現場的にはどういう特徴があるんですか。いろいろあるものですか。

教育長 あるのがいいんだと思うんですけども、現状は今、委員長おっしゃったので。人によっては夏休や何かは消化できないぐらい。ほかの研修のためだけではないんですけども。

委員長 しかも、10年ごとに免許更新というのがまだ残っているわけでしょう。それだって別の意味で研修になるわけですよ。

教育長 そうですね。あと難しいのは、怒られてしまいますけれども、教えられる人も余りいないといえないですよ。大学でいろんな講習はありますけれども、理論は別にして、実践的なものになると、大学の先生はそういうことを当然やっているわけではないので、なかなか。両方できる人もいますけれども。

川村委員 やっぱり義務教育の場合は、これだけは全員が受けなければならない悉皆研修があります。初任者研修や10年目研修などは大事にしていかななくてはならないと思います。

委員長 そうですね。全員が必ず受けなければいけない研修はしっかりと受けないといけない。

川村委員 そうですね。

委員長 いかがでしょうか。よろしゅうございますか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 それでは、これをもちまして議案第52号の質疑、及び討論は終結とします。

これより議案第52号を採決いたします。

議案第52号については、原案どおり決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 ご異議ないものと認め、議案第52号は原案どおり決定いたしました。

本日の議案はこの1件です。

◎平成23年松戸市成人式の実施について

委員長 次に、報告等です。

「平成23年松戸市成人式の実施について」ご説明願います。

社会教育課長 社会教育課でございます。よろしく申し上げます。

まず、11月は文化祭を視察いただきましてありがとうございました。今度は成人式ということで、来年1月の第2月曜日、10日になります。

資料の2ページ目をごらんください。

教育委員の皆様方には既にご案内をお送りしておりますが、平成23年松戸市成人式の実施についてでございます。趣旨はここに記載のとおりであります。日時は1月10日、成人の日です。式典が午前10時半から12時まで、交流会は10時半から1時半までということになります。会場は前年と同様、森のホール21。大ホールで式典を行いまして、レセプションホールで交流会を行います。

対象者は、平成2年4月2日から平成3年4月1日に生まれた市民で、11月11日現在、4,385人になります。うち参加予想者数は2,549人で、これは過去5年間の平均出席率58.7%から算出をしております。ちなみに、前回の成人者数は4,358人でした。ですから27名、若干ふえたということです。前回は出席が2,425人で、出席率55.6%でございました。ここ数

年はこのぐらいの人数で推移していると思います。

それから、来賓と主催者は記載のとおりでございます。教育委員の皆様方は主催者になります。従事する職員は教育委員会で28人、選挙管理委員会から10名ということで実施をいたします。

内容につきましては、ことしも昨年同様、新成人の方の中から、中学校また高校から推薦を受けた方、それから広報などを見てご自分から応募してきた方、そういった方たち、計19名の新成人のスタッフと社会教育課の若手の職員と一緒に6月から10回程度会議をもちまして内容を練り上げてまいりました。

次の水色のリーフレットにございますが、表に書いてあります「絶対に譲れない未来がある。」これは新成人の方が考えた題名ですが、ことしのワールドカップにちなんだフレーズかと思います。あと「Let'sハタチ化」というのは「Let's地デジ化」という、その辺からとったようでございます。

開いていただきまして、左側に内容が書いてあります。市長のあいさつ文の下にありますが、「Memory1990～2011」これは例年行っておりまして好評なんです、過去20年間の出来事を映像で上映をしたいと考えております。

それから「We are Dreamers! 4500分の1」となっていますが、これは、去年はコンテストという形でやりましたけれども、ことしの皆さんの案ではいろいろな特技等で頑張っている新成人の方、また仕事に向けて頑張っている新成人の方を紹介するというので、そういう方を募りまして、大ホールの舞台上でチェロの演奏ですとか、演劇とか、美容師の仕事などについて実演をしたり、または映像で披露をしていただくということになっております。

それから、大抽せん会というものをを行い、なるべく多くの方にホールに入らせていただきたいと考えております。

右のページでございます。交流会場ではことしも写真のコーナー、手紙のコーナーというものを設けまして、楽しんでいただければと考えています。

タイムスケジュールの記載と、下のほうにありますように、着つけの直しと救護室を設置いたします。

それから、式典には手話通訳と要約筆記をお願いをしております。

その他、一般からのボランティアとして毎年来てくださる方がいらっしゃるんですが、ことしも10名の方が受付とかレセプションホールでお手伝いをしていただくことになっております。

裏面にございますが、新成人の交通の便として、当日、八柱の駅からシャトルバスを出すことにしております。

なお、このリーフレットは、成人式の案内通知と一緒に成人者の方にお送りをしています。

それから、記載はしてございませんが、ことしの記念品は、図書カード500円分ということで、これもスタッフの方たちのご意見の中から出てきたものでございますが、その図書カードに若い人たちに向けた読書の勧めといったもの、幾つかの推薦図書を紹介したものを添えてお渡しをするということにしております。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

委員長 ありがとうございます。成人式に参加させていただいて、本当に感動しております。何かご質問等ありますか。

瀧田委員 質問は特にありませんが、委員長がおっしゃったように、毎年私たちが主催者側なのか観客なのかかわからないような感じで、思わず見入ってしまうほど若い人のエネルギーが出ていて、素晴らしいと思います。

私どもはそういうふうに見ていますが、新成人の方たちにアンケートみたいなものは特にとっているのかどうかということが一つ。新成人がどういう感想を持って成人式を迎えたかということを実行委員以外の方の声として把握しているのかどうかということと、それから外国の方とか、国籍が外国でも今日本に住んでいて二十になっていけば成人式にご案内をいたしているのかどうか、外国人の方のもうそろそろ年齢的に成人を迎える方も多くなっていると思うんですが、その日は日本の色一色なので、その辺もちょっと伺えたらと思いますがいかがでしょうか。

社会教育課長 当日の参加者に対してのアンケートは特にっておりません。場内もごった返してありまして。ただ、当然スタッフの皆さんとその後の振り返りとか、そういったことはやっております。

また毎回新しい企画をする際には、前年のスタッフの方にも参加していただいて、経験を踏まえた上で組み立てる、一応そんな形はとっておりますが、残念ながら当日の参加者からは今のところアンケート等はとっていません。

あと、外国人の方につきましては、ご案内を出しております。ただ、結構案内状の戻りが多いようです。

瀧田委員 別に強制的になる必要はありませんが。記念の日にごった返している中でも、何か言いたいことがあったりするかもしれないから、目立つように箱ぐらい置いておいて、いろ

んな声を聞くという場にひとつなるといいと思います。

社会教育課長 ありがとうございます。ぜひ検討します。

川村委員 私も同じく、ぜひお願いしたいと思います。一応アンケート用紙を配っておいて、帰りのときにでも書いてもらって、入れてもらうだけでも違うと思います。お願いします。

社会教育課長 そうですね。あとはご自分の決意か何かをちょっと書いていただくのもいいかもしれませんね。

瀧田委員 何か発信があるかもしれないと思うんですけどね。

社会教育課長 スタッフに提案いたします。ありがとうございます。

委員長 ほかに何かありますか。

山田委員 ついこの間、24年前に成人式を。来年だと25年になると思います。はるか昔になりました。当時は分散して各地区でしていました、25年前。

社会教育課長 市民会館の時代ですか。

山田委員 ええ。2回に分けて。

社会教育課長 2回、それから3回のときもありました。

山田委員 多分、人数も今よりずっと多い時代ですから、そうだと思います。

成人式をいろいろ問題あってやるとかやらないとかというのは、全国でもまれなケースなので、別にそれが一般的だとは思っているわけではないので、松戸は大変いい形で進められているというのも私もお聞きをしましたし、昨年も参加させていただいて、大変興味深く拝見しました。またことし違った企画になっているというのは、当事者がしっかりかかわって、職員の方がどこまでリードをされているのかわかりませんが、新しいアイデアが出てきてやっていたらいいということ、大変いいのかなと思いました。

そもそも論として、成人式というものはどの部分が成人式、何が成人式なのか、ここは大事にしようという話が企画の段階でなされているのか。これはおもしろいかどうかということがまず一つ、別の意味合いを持たせるといのは大変難しい話題であると思うんですけども、例えば市長から新成人へ言葉をかける、あるいは来賓から新成人に向けてのメッセージをもらうということが、この中でも10時半から12時までが成人式があるというんですけども、どの部分がキモなのかなと思ってこのパンフレットを拝見していました。半ば同窓会であり、半ば散り散りになった友達とまた会って、その形のまた自覚を生もうというのは、恐らくそれで役割を果たすのかなと思うんですけども、何か企画段階で、この部分はしっかりとやろうねということが促されたのかどうか、その辺をどう皆さんでお考えになったの

か、ちょっと何かヒントがあれば教えていただきたいと思います。

社会教育課長 私も実は新しい形になってからの成人式には出ておりませんで、DVDで前回の様子を拝見しましたが、大変成人者、すごくいいなと、すばらしいなというふうに思ったわけなんですけれども、第1回のスタッフ会議のときには、私のほうからは最初に成人式の意味での趣旨に触れまして、2つあると。1つはやはり大人になるという区切りですので、皆さんにとってぜひ決意を新たに、何かしら自分なりの目標を持つとか、区切りとなるような形のものに、そういったきっかけになるような式典にしてほしいということ。

あともう一点は、祝い励ますということがあるので、皆さんを祝い励まされている人がいるということをお忘れしないでほしいと。生まれたときからいろんな方の手を経てここまで育ってきたということもお忘れしないでほしいと。そういった励ましてくれる側の人たちに対する気持ちも持ってほしいという2点を冒頭ではお願いをして、会議に入っていました。

そういう中でいろいろな意見が出ますが、その中でうちの職員のほうもまとめたりしながら、今回は「We are Dreamers! 4500分の1」ということで、自分の将来に向けての夢をきちんとそこでアピールする場所をつくって、そういったことを見てまたほかの人たちも自分はどうしようかということを考えるという趣旨で、今回の流れになったかと思います。ですから、その辺の意図はあろうかと思います。

そういう意味では、私は実は先ほど山田委員さんがおっしゃった、市民会館でやっていた当時、成人式の担当者だったんです。そのころはどちらかというと、成人者はただじっとあいつを聞いているだけ、ひたすら励ましの言葉を聞いているだけというような式典でありました。お祝いの行事としては、市民会館の各部屋で似顔絵をかいてもらったり、記念写真を撮ったりとか、そういったコーナーはありましたけれども、式典自体は本当にじっと聞いているだけというような雰囲気がありました。それに比べて、今回はDVDなんか見ますとすごく成人者主体になって、松戸はいい方向に来たなというふうに思っております。

実際に会議に出ておる職員のほうから、藤谷のほうから何か様子があれば。

社会教育課主査 藤谷と申します。

成人式を担当しておりまして、実際6月から皆さんに集まっていたいただき、いろいろな意見を出し合っていたいただいて、自分たちの成人式を迎えるということをお自覚してもらい、みずから生きていこうということで題名も考えました。内容も自分たちがどれだけ今まで頑張ってきているかということをおここでみんなで見せようということで、12月までに約10回ぐらい会議を迎えまして、お手持ちのリーフレットの内容になっております。

川村委員 先ほど2つほど挙げられましたが、もう一つは今回のように、若い人たちを企画に参加させていく中で、若者を育てていくということはとても大事だと思います。

委員長 私もこれまで7回程参加させていただきました。私が出るころになったら落ちついておって、特に問題なく、かつ若い人たちの企画による式典・イベントになっていましたね。ですから、山田委員の質問は、そもそも論としてはとてもいい質問だと思います。

櫻井課長がおっしゃったように、かつての各来賓の皆さんからいろいろと訓示を賜るという方式から、今の形に脱皮したということは、そもそも論からいうと、今、川村委員おっしゃったように、若者たちがつくる成人式に変質してきたということが言えるかもしれないですね。自分たちの自分たちによる自分たちのための成人式を松戸市はつくり上げている、というような感じがしますね。まさに民主主義の原則に戻って、国民の祝日に関する法律に従った成人の日の趣旨を生かしながら、成人する人たちみんなでつくっていこうという、何かそういう印象を受けますね。

どこからどこまでが式典で、どこからどこまでイベントかという、言ってみれば全体が式典で全体がイベントというふうに若い人たちは考えているのかもしれないですね。

山田委員 そもそも論という、掘り下げていって、タマネギの皮をむいていっていいかどうかというそこまで、どれが本体なのかというのは別に掘り下げる必要もないんだろうといったところで。ただ、私は昨年も拝見して、恐らく今後もっとよく進化していくと思うんです。副委員長の今のまとめを聞いてよくわかったんですけれども、これは一つの重要な勉強の機会であり、彼らがステップを踏むよい機会として松戸はうまく育ててきたんだというところで理解をしたんです。

一方で非常に気になるのは、たった1年違う、何だろう、異質なもののつながりというものが非常に苦手な世代にどんどんなっていると思うんですね。上下関係がいいとか悪いとか、昔のほうがいいとかというんじゃないですけれども、非常に同年代、若者言葉でいえばタメ、タメ口のタメ、タメであれば非常に許せるけれども、そうじゃない人とのコミュニケーションがすごく苦手ということも一方であるので、自分の世代が自分たちのためにやっていくということに対する違和感が少しあったのが事実なので。これはまた斜めからの見方なので、今ほどの委員長の整理の仕方一つ納得はできた気はしますし、興味深くまた来年も参加させていただきたいというふうには思いました。

瀧田委員 過去のことを言っても仕方がないと思いますが、最近の成人式は整然としていると思います。数年前はお祭り騒ぎみたいなのがあって、それが一つの力に見えなくはなか

ったけれども、式が始まるとほとんどがロビーへ出てしまいましたね。その原因の一つには、中学別の席になっていたということがあると思います。それを廃止したころから、そういうざわっとした感じがなくなりました。今、比較的個としての参加、同窓会意識もあると思いますが、どちらかというところ、個としての参加がちょっと確立してきたかなという感じがします。

ですから、一人一人の意識の中で二十を迎えることに対して、少し自分自身で考えているなど思ったものですから、何かいつでも自分の書いたものが出せるような子もいるかもしれないなと思いました。

それから、実行委員側はもう夢中ですよ。そして、その人たちが音楽も奏でるし、歌も歌うし、非常にそこで発散しているけれども、受け手の人がまだ友達が出ているとか何とか、そういうことで盛り上がりはしていますけれども、そここのところの違和感とそのうちに出てこないかなと思います。主催者側と、見ているほうの違和感が出ないように、どこかで心を砕いていかないといけないでしょうね。

見ていると時代によって変わっていくわけですよ。企画側と客席との距離感ができたときに、また何かおもしろくないみたいなのがあるかもしれない。今は非常にいいところだけれども、このパターンでオーケーということはあり得ないと思うんですね。いつもいつも新しいことにチャレンジしていただいて、社会教育課の方は指導者としての立場でいろんなことを想定しながら進んで、これがいい、このパターンがいいということは特に決められないかなというふうに思っています。

委員長 それはそうでしょうね。これが絶対なんていうのはあり得ない。したがって、他市のやり方も見ながら、松戸市はどういうふうにして今後進めていくかということのを若い人が考えていく、という方針を続けていただきたい。中学時代は異なる中学校にいた人たちが、成人式のとくに例えば音楽をやっていた人が一堂に集まって合同演奏をやる、それが更に発展し、一般社会に出てからも一緒に音楽活動に関わる、それが松戸市の音楽教育にいい面で影響を与えてくれる、これはとても嬉しいことですね。

八田委員、何か特にございますか。

八田委員 途中から入ってきて申しわけありません。

成人式が終わりますと、各報道機関が振袖姿の写真などを入れて風物詩的に報道しますが、新聞社でその取り上げる基準というのがあるのかなと思うのです。できたら、松戸市の成人式も少し个性的にして、変化や進歩を取り入れ、松戸らしい特徴的のある成人式を企画したらいいのではないかと思うのです。

憶測ですが、きっと、どこか取り上げられるのには、それなりの特徴や理由があるはずですから、これからの企画にはその要素も取り入れたほうが良いと思います。もちろん、マスコミに取り上げられることが全てではないと思いますが。ここ何年か盛り上がりが大きくなったような気がしましたので感想です。

委員長 さっきもちょっと触れましたけれども、音楽なんか一つの特徴でしょうね。

八田委員 ああ、いいですね。

委員長 振りそで姿でブラスバンドをやるわけですから、それはすごいですよね。

川村委員 松戸の成人式って、本当に他市から比べると誇れますよね、今の状況の中では。それをどこかでアピールしていくのも大事かもしれないですね。悪いことばかり報道されますけれども。

瀧田委員 新聞の千葉版に毎年成人式の様子が報道されますね。松戸は成功した時のアピールが必要だと思います。十分賛美に値しますからね。

来賓の方の席が2階になりましたよね。あれもよかったと思います。全体が見渡せますから。上からみんなをある意味温かく見守るという感じ、私はあの席に変えたこともよかったと思っています。

委員長 それは言えますね。

皆さん、成人式に戻ったような気持ちで議論をいただきました。事務局で何か参考になることがありましたら、どうぞ利用してください。

◎その他

委員長 それでは、その他に移ります。

委員の皆さん、何かございますか。

何もないようですので、次回の教育委員会会議の日程についてお諮りします。

事務局、お願いします。

企画管理室長 では、事務局よりご提案いたします。

平成23年1月定例会でございますけれども、23年1月13日の木曜日、午後2時から、こちら5階の会議室で開催されてはいかがでしょうか。

委員長 よろしゅうございますか。

(「はい」の声あり)

委員長 それでは、確認いたします。

次回教育委員会会議は、平成23年1月13日木曜日、午後2時から教育委員会5階会議室にて開催いたします。

◎閉 会

委員長 以上をもちまして、平成22年12月定例教育委員会会議を閉会いたしますが、皆さんこ
としも1年間どうもありがとうございました。よいお年を迎えてください。どうもありがと
うございました。

閉会 午後 2時40分

この会議録の記載が真正であることを認め署名する。

松戸市教育委員会委員長

松戸市教育委員会委員